

# たかお治久<sup>はる</sup><sup>ひさ</sup> 後援会 会報 NO.16

■発行日／平成26年11月 ■編集発行／鷹尾治久後援会 ■後援会連絡所／カネカ労組高砂支部内

高砂市議会議員のたかお治久です。

皆様のお力により、9月7日投開票の高砂市議会議員選挙にて無事2期目の当選をさせて頂きましたことを先ずご報告させて頂きますと共に、その後の活動等について以下の通りご報告させて頂きます。

**何かとご多用とは思いますが、是非ご一読ください。宜しくお願い致します。**

## 1. 選挙戦を終えて

自身初めての複数回目の選挙で、選挙前には多くの方々より「2期目は特に厳しい」とのお話を聞いていました。結果は前回の【2,233票5位】から【1,987票8位】と数値の面では落としたこととなりますが、これだけ多くの方々にご支持を頂いたことに先ず深く感謝すると共に、1期目にも増して尽力してくれた素晴らしい選挙スタッフと戦えたことを幸せに感じています。今後は、その期待に応えられる様、更に自分を磨き、具体的成果に繋げていきたいと考えています。

選挙戦を振り返ってみますと、1期目の任期4年の半分を過ぎ議員としての過ごし方や流れなどに慣れ始めた3年目に入った頃からは、頭の中から選挙のことが離れたことはなく、4年目の新年を迎えると同時に「いよいよ今年だ」との思いを強くし、2期目の選挙に向けての準備や後援会会員募集とそれに伴う戸別訪問を展開していきました。

告示前、数か月の戸別訪問期間では、やはり何かしら反応が鈍く感じられたのは確かでしたが、自分なりに納得のできる4年間を過ごしてきたと思う所があり、最終の一週間となる選挙戦の頃には「人事を尽くして天命を待つ」の思いで過ごしました。

9月7日の投開票にて結果が出た時には、自分の勝手な自信とは裏腹に前回は上回れなかったことへの残念な気持ちと、「とにかく無事当選できた」との安堵の思いが交錯しました。

これからの4年間で大切なことは、「あの結果が、たかお治久にとっては良かった」と思える過ごし方をすることだと思っています。

これまでも増して全力で取り組んでいきますので、厳しいご指摘も含め、後援会の方々、市民の方々にはご指導を頂きたく、宜しくお願い致します。



### ブログ「たかお治久の活動報告」のご案内

日々の出来事・思いを掲載しております。  
宜しくお願いします。



# 3. 高砂市議会議員と私の政務活動費

## 1. 現在の高砂市議会の政務活動費について

高砂市議会議員の政務活動費について、詳細は条例に定められておりますが、概要は以下の通りです。（下記は平成 25 年度運用の実態）

- 1) 高砂市議会議員の政務活動費は **月 2 万 5 千円 / 人（年間 30 万円）**  
\* 兵庫県議会議員は月 50 万円 / 人、加古川市議会議員は同 7 万円、姫路市は同 8.5 万円
- 2) 会派別に **半期毎に前入金される。**
- 3) 使用規則が別途定められており、**1 円から全て領収書が必要。**
- 4) 年度末の会計報告と共に、**残金は返金する** ことになっています。

## 2. 私の政務活動費（使用実績概要）

以下、会派離脱後の平成 24 年度以降の 3 期間についてご報告させていただきます。

### ① 平成 24 年 6 月（会派離脱後）～平成 25 年 3 月末日の 10 か月間

収入額 250,000 円 支出額 125,725 円 返金額 124,275 円

主な使用：秦野市・習志野市視察旅費（視察目的は公共施設老朽化対策と公会計システム勉強（41,740 円）、PDF データ保存可能カラープリンター（31,500 円）

### ② 平成 25 年 4 月～平成 26 年 3 月末日の 12 か月間

収入額 300,000 円 支出額 237,739 円 返金額 62,261 円

主な使用：東播懇話会会費（30,000 円）、自治体議会政策学会参加費（46,560 円）

岩手県滝沢村視察（目的は市民満足度を数値化した行政手法：68,938 円）

佐賀県武雄市等への視察（目的は公共図書館のあり方等：36,920 円）

### ③ 平成 26 年 4 月～平成 26 年 9 月末日の 6 か月間

収入額 150,000 円 支出額 47,317 円 返金額 102,683 円

主な使用：東播懇話会会費（30,000 円）日本会議会費（10,000 円）

上記は私の政務活動費（使用実績）の概要です。詳細は全て私のブログで報告をさせて頂いております。

## 3. 今後の高砂市議会議員の政務活動費について

今後については、現在市議会議員内でより適切な使用ルールや公開・報告の方法について、**時間をかけて議論を行う予定**にしています。

私見ではありますが、**政務活動費は必要、というのが私の考え**です。ただ運用については大いに改める所があり、世間一般の民間企業で運用されているルール以上に厳格に運用し、全ての使用実績をインターネットで簡単に閲覧できる様、公開すべきと考えています。

## 2. 2 期目の活動 ～新会派結成～

高砂市議会議員

### 島津明香氏 石崎徹氏、鷹尾治久の3名で 新会派「明風会」を結成

9月7日の投開票の後、私は今回初当選されましたお二人（島津明香氏、石崎徹氏）と共に三人で会派を結成することとし、私が代表を務めさせて頂くことになりました。そこでその理由や経緯、今後の活動の方向性等につき、以下の通り Q & A 方式にてご説明させていただきます。

#### Q 何故この3人で会派を結成したのか？

先ず、何といてもベースとなる考え方がほぼ一致したことが大きな要因です。選挙投開票は9月7日(日)。会派結成届の締め切りは9月10日(水)正午。これが選挙前より決められていたスケジュールでした。

その様な状況下、従来無所属議員として活動をしていた私は当選翌日に会派についてどう考えているかも含め挨拶かたがた島津議員、石崎議員を訪問させて頂きましたところ、ご両名共それぞれ現行政当局の運営に大局的には賛同するものの、市民感覚を大切に新人議員としてきちんと意見を発していきたいとの思いをもっており、意見が一致したことが大きな理由です。

当選前にはご両名との面識は全くない中での会派結成であり、違和感を持たれる方もいるかもしれませんが、私としては、このご両名とは建設的な議論をやっていけるとの思いを持ち会派を結成させて頂きました。

#### Q 会派ではどんなことを目指していくのか？

先ずは一般的な市民の感覚、民間感覚を大切に、「おかしい」と思う場合には必要な意見はきちんと伝えていく、このことを大切にしたいと思っています。当たり前のことの様ですが、同じ組織に何年も居るとその組織のしがらみや価値観に染まり、いつの間にか外界とは違う価値観、考え方になりかねないと思っており、新人議員の方々の意見を大いに参考に、影響力を発揮していきたいと考えています。

#### Q 何故、無所属のままではいかなかったのか？

本来私は、地方議会に会派が必要か？という疑問を持っており、市民代表として様々な情報や価値観より自分自身が自分たちの自治体に必要な施策を自分が判断し、賛否を表明するのが理想と思っています。しかしその一方で会派内では議員としての立場から、自分にはない視点や多面的（財政、次世代、広域、他の施策とのバランス、特定の地域への偏りの有無等々）な視点で、本音の議論が展開できる利点もあると思っています。

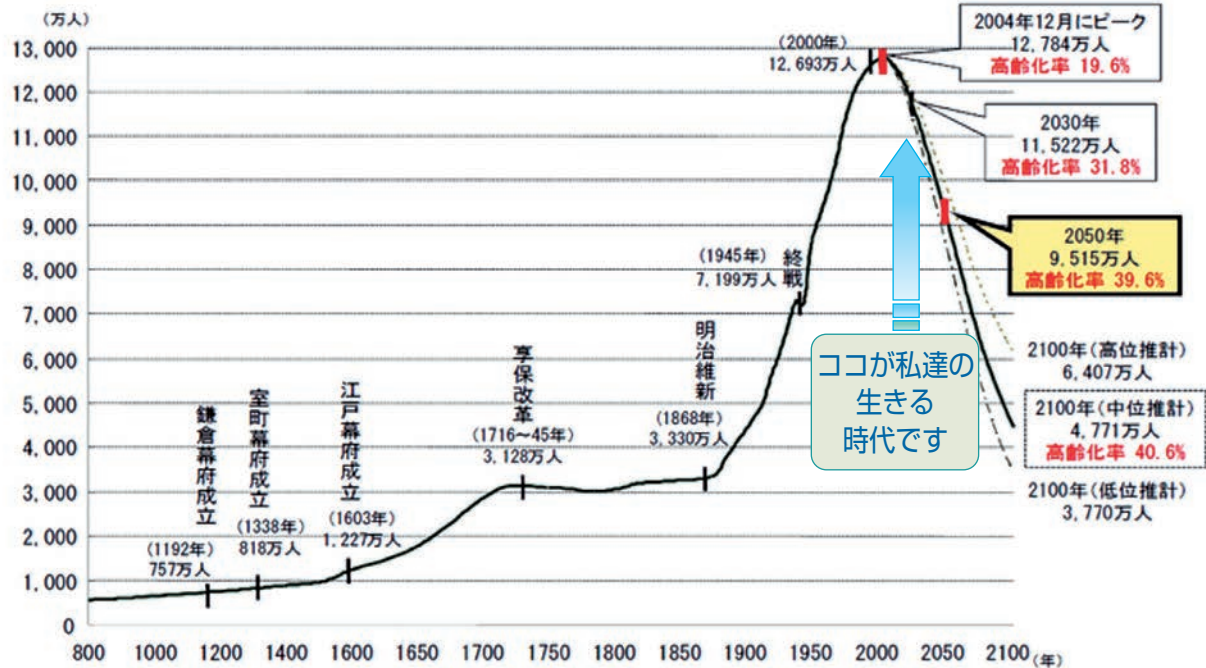
そんな中、建設的な議論を出来る仲間との会派結成は有意義であるとの結論に至り結成をさせて頂きました。



# 4. 今後の活動 ～身近な改善と長期的展望に立った提案

【図 I - 1】 我が国の人口は長期的には急減する局面に

○日本の総人口は、2004年をピークに、今後100年間で100年前(明治時代後半)の水準に戻っていく。この変化は千年単位でも類を見ない、極めて急激な減少。



(出典)総務省「国勢調査報告」、同「人口推計年報」、同「平成12年及び17年国勢調査結果による補間推計人口」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成18年12月推計)」、国土庁「日本列島における人口分布の長期時系列分析(1974年)をもとに、国土交通省国土計画局作成

## 私の時代認識と、今後議員としてやりたいこと

上記グラフは後援会報(No.12)でお示した日本の人口予想です。人口減少と生産年齢人口の減少が同時に来る将来は、私達の公共を支える税金を払う人が減ることであり、**従来レベルの公共サービスを受けることは困難又は相当な負担増という見通しに立たなければなりません。**

そんな中、政治に求められるのは、生活の基盤をつくる仕事環境を守り、産業発展を支える施策、人口を増やす施策であり、また一方で、将来を見据えた選択と集中の加速的実現です。

現在既に、高度成長時代に造ったハコモノの老朽化が問題となり、また**身近では公園遊具の補充や道路の修理等さえ予算不足で従来レベルを維持出来ない実態が露呈し始めています。**

執行権を持たない市議会議員としては、行政当局に対し、働く者の視点からの提案に加え、人口増に向けた提案、また市民という公共サービスを受ける側からの「何故?」と思える**施策の改善の提案等**を積極的に行っていくと共に、選択と集中に向け**長期的展望に立った苦しい財政見通しや施設の老朽化問題をどうしていくか、具体的に市民に示し、市民と共に公共サービスのあり方、負担のあり方を考えられる仕組みの構築を提案、要望していきたい**と考えています。

今後とも、変わらぬご支援、ご支持、そしてご指導を頂きたく、宜しくお願い致します。

<鷹尾治久後援会役員>

会長：渡邊登 副会長：北野光昭 松谷敏道 荒田修 西本裕行 幹事：吉田淳二 会計：谷村 英雄 監査：和住真宏